

A photograph of the Tsuyama High School building, a large, multi-story structure with a prominent clock tower on the left and a smaller tower on the right. The building is surrounded by lush green trees and a paved path in the foreground.

津山高校

第2号

関東同窓会だより

総会報告、懇親会、作品展、津高マッチング、総会参加者名簿、活躍する卒業生たち、津山高校ニュース、津山のニュース、作州地方の方言、同窓会役員・常任委員一覧

総会報告 2016

平成 28 年度 津山高校関東同窓会

日 時：平成 28 年 9 月 24 日 (土) 12 時～ 15 時 30 分

場 所：ホテルグランドパレス 3 階白樺の間

参加者：153 名

議事次第

1. 開会の挨拶
2. 議長・書記選出
3. 一号議案 平成 27 年度活動報告・決算報告・監査報告
4. 二号議案 平成 28 年度活動 (案)・予算 (案)
5. 三号議案 会則改正
6. その他

あいさつ

関東同窓会会長 片岡廣治郎

本日の総会は近年では最多の 150 人を超える参加者です。また津山からは牧山会長・菱川校長をはじめ、多くの同窓生にもご参加いただき、誠にありがとうございます。

今年は懸案だった同窓会報の創刊号をお手元にお届けする事が出来ました。編集委員はもちろん、広告掲載をしてくださった方々や、多くの人の応援のお蔭と、この場を借りてお礼申し上げます。関東同窓会の歴史については、不明な点が多かったのですが、母校で昭和 33 年に発行された「成美学園新聞」に東京同窓会発足の記事が大きく掲載されていました。このことから、来年は 60 年になる事が分かったのです。これを機に関東同窓会の歴史を掘り下げるとともに、来年は 60 年記念総会として盛大に開催したいと思っています。

熊本大震災の義援金をお願いしたところ、11 万円以上も集まりました。ありがとうございました。早速、日本赤十字社を通じて寄付したいと思います。

今年も同窓生の作品を展示しています。幹事年をはじめ幹部の頑張りで色々な催し物もあります。最後までごゆっくりとお楽しみください。



平成 27 年度決算報告書 (平成 27 年 1 月 1 日～平成 27 年 12 月 31 日)

収入の部	
項目	金額
総会・懇親会費	726,000
年会費	906,000
ご祝儀	60,000
預金利息	518
その他 (寄付他)	36,000
年度実収入計	1,728,518
前年度繰越金	3,514,185
収入合計	5,242,703

支出の部	
項目	金額
総会・懇親会費用	693,783
会議費用	358,992
印刷・通信費	495,781
HP 運営費 (リース料等)	12,960
振込手数料 (郵便振込)	46,690
受取人払い (返信ハガキ)	50,453
新規事業・その他	139,445
年度実支出合計	1,798,104
次年度繰越金	3,444,599
支出合計	5,242,703

津山高校関東同窓会活動報告

- 4月18日 拡大役員会
- 6月27日 常任委員会
- 8月1日 総会案内封入作業
- 9月6日 拡大役員会
- 9月27日 平成 27 年度 総会・懇親会
- 11月7日 会報創刊号編集委員会第 1 回
- 12月5日 会報創刊号編集委員会第 2 回
- 12月5日 忘年会

平成 28 年度予算 (案) (平成 28 年 1 月 1 日～平成 28 年 12 月 31 日)

収入の部	
項目	金額
総会・懇親会費	750,000
年会費	900,000
ご祝儀	50,000
預金利息	500
協賛金	100,000
義援金	70,000
その他 (寄付他)	90,000
年度実収入計	1,960,500
前年度繰越金	3,444,599
収入合計	5,405,099

支出の部	
項目	金額
総会・懇親会費用	850,000
会議費用	450,000
印刷費等	200,000
通信費等	400,000
HP 運営費 (リース料等)	70,000
振込手数料 (郵便振込)	50,000
受取人払い (返信ハガキ)	50,000
義援金	70,000
新規事業・その他	50,000
年度実支出合計	2,190,500
次年度繰越金	3,214,599
支出合計	5,405,099

津山高校関東同窓会活動 (案)

- 1月23日 会報創刊号編集委員会 第 3 回
- 2月28日 拡大役員会
- 会報創刊号編集委員会 第 4 回
- 4月9日 常任委員会
- 会報創刊号編集委員会 第 5 回
- 5月7日 会報創刊号編集委員会 第 6 回
- 6月4日 拡大役員会
- 会報創刊号編集委員会 第 7 回
- 7月2日 正副会長会議
- 総会案内・会報封入作業
- 9月4日 拡大役員会
- 会報第二号編集委員会 第 1 回
- 9月24日 平成 28 年度 総会・懇親会
- 11月 会報第二号編集委員会 第 2 回
- 12月 会報第二号編集委員会 第 3 回
- 忘年会・反省会

新役員紹介

会長	片岡廣治郎	(S35卒)
副会長	竹内妙子	(S36卒)
	増田美子	(S37卒)
	草地八寿郎	(S40卒)
	石井雅晴	(S48卒・事務統括)
	山本 大	(S49卒・事務局長) (新任)
監事	高本征治	(S35卒)
	佐桑慎二	(S36卒) (新任)



幹事あいさつ

本日のご来場誠にありがとうございます。津山高校同窓会本部総会は去る8月14日に43期を中心として、「想ふ～あなたに逢いたい～」のテーマのもと、過去最大の参加者を集めて開催されました。その余興に於いて、関東グループは榎原敬之さんの「遠く、遠く、離れていても…力いっぱい輝ける日を、この街で迎えたい～」を合唱しました。同じ津山高校の学舎から巣立った関東同窓会の皆様方は、故郷を遠く離れた関東の地でそれぞれにご活躍のことと思います。

今年の津山高校関東同窓会は42期と本部の同窓会幹事を務めた43期の合同で開催することになりました。今年から、“津高マッチング”と称し、東京と地元津山において様々な分野で活躍されている、4人のメンバーに自分の行っている事業や取り組みについて発表していただく場を用意しました。これを機に、世代や活躍する分野を超えた同窓生同士のつながりがより一層図られることを幹事一同心より願っております。

〈42期・43期幹事一同〉

岡山県立津山高等学校関東同窓会新会則

(総則)

- 第1条 本会は、岡山県立津山高等学校関東同窓会と称する。
- 第2条 本会は、事務所を東京都内におく。
- 第3条 本会は、会員相互の親睦を図り、母校の発展に助力することを目的とする。
- 第4条 本会は、その目的を達成するために、次の事業を行う。
1. 総会・懇親会の開催。
 2. 会報誌「津山高校関東同窓会だより」の発行。
 3. その他本会の目的達成に必要な事項。

(会員)

- 第5条 本会は、次の各号の者を会員として組織する。
1. 関東地域在住者で、岡山県立津山中学校・同津山高等女学校・同津山成美高等学校・同津山高等学校の各学校を卒業した者、及び各学校に1年以上在籍し本会に入会を希望する者。
 2. 関東以外の地域在住者で、岡山県立津山中学校・同津山高等女学校・同津山成美高等学校・同津山高等学校の各学校に1年以上在籍し本会に入会を希望する者。
- 第6条 本会の会員は、所定の会費(2,000円)を納入するものとする。
- 第7条 本会の事業を妨げ、または本会の名誉を汚すような行為をした者は、役員会の決議によって除名することができる。

(役員・委員)

- 第8条 本会には、次の役員及び常任委員をおく。
1. 役員

会長	1名	副会長	5名以内	事務局長	1名
監事	2名				
 2. 常任委員

原則として各期男女各1名ずつ
- 第9条 会長は役員会が推薦し、総会の承認を経るものとする。
- 第10条 副会長・事務局長及び監事は会長が任命し、総会の承認を経るものとする。
- 第11条 会長は本会を代表し、会務を統括する。副会長は会長を補佐し、会長に事故があるときは、副会長の内の1名がこれを代行する。会長業務を代行する副会長の選出は、副会長間の互選によるものとする。事務局長は、本会の事務全般を統括する。監事は、本会の資産の状況・役員会の業務執行状況を監査する。
- 第12条 常任委員は、原則として各期で選出するものとする。

- 第13条 会長は、必要に応じて若干名の総務担当委員を任命することができる。総務担当委員は事務局に所属し、庶務・会計等の業務を担当する。
- 第14条 役員・常任委員及び総務担当委員の任期は2年とする。ただし、重任を妨げない。

(会議)

- 第15条 本会の会議は、総会、役員会、拡大役員会及び常任委員会とする。
- 第16条 総会は年1回の通常総会と臨時総会とし、臨時総会は必要に応じて開く。
- 第17条 総会は会長が招集し、決議は出席者の過半数の同意によるものとする。
- 第18条 総会は次の事項を承認または決議する。
1. 事業計画及び収支予算の決議に関する事項。
 2. 前年度の事業報告及び収支決算の承認に関する事項。
 3. 会則の変更に関する事項。
 4. 役員を選任に関する事項。
 5. その他役員会で必要と認められた事項。
- 第19条 役員会は、役員により構成され、必要に応じて会長が招集する。
- 第20条 拡大役員会は、役員・総務担当委員及び当該年度総会開催担当期幹事により構成され、必要に応じて会長が招集する。
- 第21条 常任委員会は、役員・総務担当委員及び常任委員により構成され、必要に応じて会長が招集する。

(会計)

- 第22条 本会の経費は、会費・寄付金及びその他の収入をもってあてる。
- 第23条 本会の会計年度は4月1日より始まり、翌年3月31日に終わる。

(改正)

- 第24条 本会則の改正は、総会の決議により行う。

(付則)

- (1) 本会則は1958年5月26日より施行する。
- (2) 本会則は2008年6月14日より施行する。
- (3) 本会則は2010年9月11日より施行する。
- (4) 本会則は2012年9月29日より施行する。
- (5) 本会則は2016年9月24日より施行する。
- (6) 本会の事務局は、当面、東京都豊島区池袋2-57-2ボイスインターナショナル(株)内におく。

懇親会 2016

9月24日にホテルグランドパレス「白樺の間」にて
懇親会が和やかに開催されました。



校長
菱川 靖人氏



津山高校同窓会長
牧山 政雄氏



前関東同窓会長
長谷 武氏



上京したての大学生から80代まで153人の同窓会員が親睦を深めました。

アナウンサー・リポーターのマネジメント
株式会社 エス・オー・プロモーション

代表取締役会長
フリーアナウンサー・トークアカデミー塾長

押阪 忍

〒107-0062 東京都港区南青山 5-4-35-707
TEL 03-3406-1661 fax 03-3406-1426
www.so-pro.co.jp

昭和 28 年卒

MTE 守谷輸送機工業株式会社

顧問 **安東 穆**

守谷エレベーター
〒104-0032 東京都中央区八丁堀 3-12-8
TEL 03(6228)3460代
FAX 03(6228)3350
E-mail:k_andou@moriya-elevator.co.jp

昭和 35 年卒

NHK 会友
中村 宏
津山高校いざよう会 (11 期)

昭和 35 年卒

懇親会 2016



小林邦江税理士事務所

税理士 小林 邦江

〒224-0055 横浜都筑区加賀原1-24-1-203
TEL 045(943)4721
FAX 045(943)8107
E-mail:kobaku@kch.biglobe.ne.jp

昭和 35 年卒

一般社団法人 進化経営学院

創設の辞
逆境練機 転原自在
経営進化 互惠共栄

代表理事 黒田悦司

〒311-3508 茨城県行方市沖 1543-10
☎0299-57-0377
URL <http://rinen.gr.jp/>

昭和 37 年卒

空調周辺機器総合メーカー

UCAN UCAN CO.,LTD.

代表取締役
安藤 馨

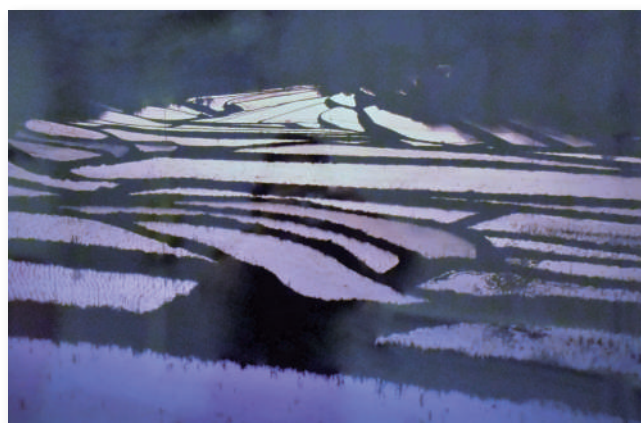
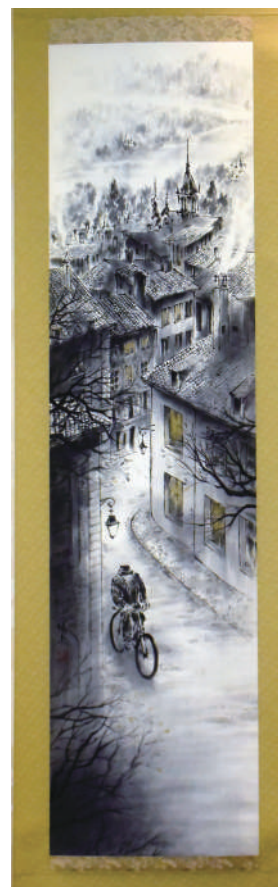
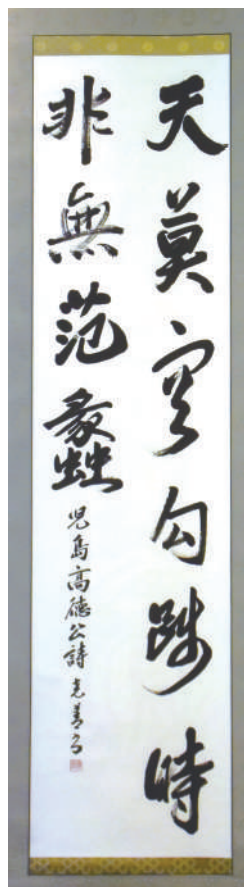
ユーエーシー株式会社 加温器、全熱交換器、ドレン処理機

本社
〒153-0832 東京都八王子市敷田町5-6-19
TEL042-665-8846 FAX042-661-3887
(携帯電話 090-3192-2631)
URL <http://www.ucan.co.jp/> E-mail: Lando@ucan.co.jp

昭和 39 年卒

作品展 2016

絵画・水墨画・書道・陶芸・鎌倉彫・写真等、同窓生の作品が展示されました。



2017年の総会にも作品展を開催します。どうぞ皆様ご出展ください。

カフェ・バー
GORI

藤本 宣
礼子
東京都新宿区新宿 1-17-11 大洋ビル 1F
TEL. 03-3353-1294

昭和 41 年卒

明治大学 教授

工学博士 さか うえ きょう せい
坂 上 恭 助

〒214-8571
理工学部建築学科建築設備研究室
川崎市多摩区東三田1-1-1
TEL/FAX : (044)934-7380
E-mail : sakae@isc.meiji.ac.jp

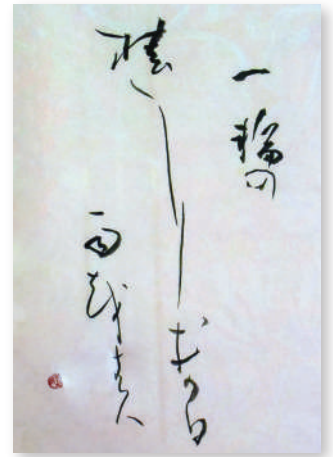
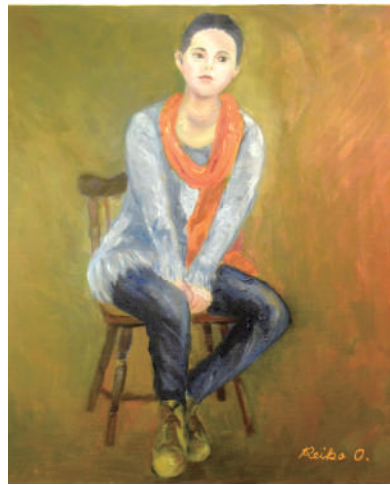
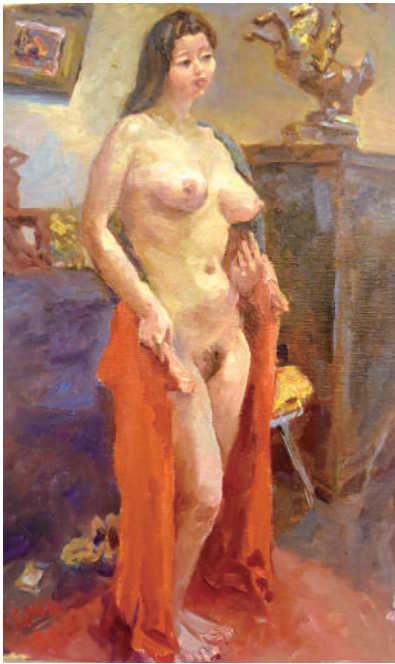
昭和 43 年卒

元東京大学医学部形成外科教授
現広島大学附属病院
国際リンパ浮腫治療センター教授

光 嶋 勲

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3
広島大学病院国際リンパ浮腫治療センター
TEL : 082-257-5555 FAX : 082-257-5851
E-mail : koushimaipla@gmail.com

昭和 45 年卒



出品者一覧

作者名 (本名)	卒業年	種別
菊地芳子	昭31年	書
片岡廣治郎	昭35年	陶芸
寺坂拓垂	昭35年	陶芸
田淵隆三	昭35年	油絵
竹内妙子	昭36年	水墨画
岡本玲子	昭36年	油絵
佐桑慎二	昭36年	写真
加島静睦 (加島睦子)	昭37年	鎌倉彫/書
深町春穂 (深町聡子)	昭37年	南画
中原正倫	昭38年	油絵
松井陽水 (松井陽子)	昭46年	水墨画

小林・福井法律事務所

弁護士

小林 元治

〒160-0023 東京都新宿区西新宿6丁目12番6号
 コアロード西新宿203号
 TEL: 03-3343-6088 (代表)
 FAX: 03-3343-3395
 E-mail: m.kobayashi@kobafuku-law.jp
 URL: http://www.kobafuku-law.jp

昭和 45 年卒

医療法人メディア

理事長
歯学博士

岸本 雅吉

銀座コア歯科・矯正クリニック

〒104-0061 東京都中央区銀座5丁目
 8-20 銀座コア8F
 TEL (03)5568-0002
 FAX(03)5568-1112

日本矯正歯科学会認定医
 歯はり師 きゅう師 (厚生省免許)



昭和 47 年卒



空調設備 設計・施工

代表取締役

石井 雅晴

ボイス インターナショナル株式会社
 〒171-0014 東京都豊島区池袋2丁目57番2号
 TEL: 03-3984-7515 (代表)
 FAX: 03-3984-2318

昭和 48 年卒

津高マツチング

今年初めて、関東地域や津山で活躍されている卒業生たちが自分たちの事業や取り組みについて発表し、新たなネットワークを構築する場として「津高マツチング」を企画しました。今回の発表応募者は4名です。

笑いヨガ

松下いづみ(昭和49年卒)

今年も、世界最大の女性マラソン大会、名古屋ウィメンズマラソンを完走できました。共働きで3人の子育ての中、一級建築士としてサラリーマンをしておりましたが、10年前更年期を乗り切れず精神疾患により退社を余儀なくされました。それから数年、ポジティブで健康的な生活ができるための勉強を重ね、笑いとお正姿勢にたどり着きました。昨年、自宅でパーソナルストレッチスタジオをオープンし、出張「笑いヨガ&姿勢美人教室」が好評です。柔軟で適正な姿勢での生活は、血流を上げ深い呼吸ができ、疲れにくい体に導きます。また、内臓が正位置にとどまり美肌、快便へ、脳はポジティブ思考へ、笑いは免疫力をアップします。



WAKANAのご紹介

大山貴志(平成6年卒)

鏡野町にある”パティスリー WAKANA”という洋菓子屋さんのご紹介です。小麦粉やお米、果物等の原材料の多くを地元岡山県北産のものを使い、「郷土の風情と四季の実りを感じてもらいたい、そして美味しいものを食べて笑顔になってもらいたい…」そんな想いを込めてお菓子作りを行っている人気のお店です。当日はANAの機内販売カタログにも掲載された「とろけるショコラクッキー-鏡野ほろり」を同窓生の皆さんに試食していただきました。「鏡野ほろり」は津山産の小麦を使い、しっとりとした食感とホロリととろける口どけの良さが特徴のクッキーです。当日は販売用のセット70箱が一次会で完売してしまうなど大変好評をいただきました。

企業との連携プロジェクトのご案内

山田 精一(平成10年卒)

「地方を活性化したい。その為には観光や産業だけでなく、次世代を担う子どもたちを地域や社会全体で一緒に育てていくことが必要なのでは」との思いから、1年前に”放課後NPOアフタースクール”というNPOに転職しました。私たちの団体では、「地域で子どもたちを育てる。全国で！」をキーワードに、様々な知恵や技術を持った地域の方たちを市民先生としてお招きし、子どもたちに本物でそして多様な体験の場を届けています。また、様々な企業とも連携して、各社の特色を活かした子育て事業も行っています。企業のもつ資源を子どもたちの世界に投入することで、素晴らしい教育効果が生まれます。ご興味ある方がおられましたら、ぜひご連絡ください。

ふるさと作州のつどい

津山広域事務組合 國富晋作(昭和62年卒)

関東同窓会では、卒業生の活躍を後押しする「津高マツチング」を設けていただき、11月12日(土)に3年ぶりに開催した「ふるさと作州のつどい」の広報、PRを行いました。このつどいは、首都圏在住の津山圏域出身者や作州地方にゆかりのある方々との交流を深めることにより、津山圏域のまちづくりに繋げていくことを目的として開催するものです。会場では、ふるさとの特産品による試食・試飲や市町の特産品展示・販売コーナー、郷土の特産品が当たるお楽しみ抽選会等の催しで皆様をお迎えます。

ふるさと作州のつどい当日は、関東同窓会の皆様をはじめ約300名という多くの方々にご参加いただき、盛大に開催することができました。そして津山圏域の発展を応援していただくサポーターへも、多くの方々からのご賛同を得ることができました。

旧出雲街道沿いの古民家カフェです
津山でお待ちしています!

かふえ花音

江田実子

〒708-0046 津山市西今町64 tel.0868-35-2919
8:00~18:00(水曜日休み)

昭和 48 年卒

代表取締役社長
OTSUKI TAKAYUKI
大月 隆行

ランデス株式会社

本社/岡山県真庭市開田630-1 〒719-3192
TEL 0867-52-1141(代) FAX 0867-52-3515
http://www.landes.co.jp
e-mail:t-otsuki@landes.co.jp

昭和 48 年卒

社会福祉法人 江原恵明会

理事長
江原 秀国

〒708-0884 岡山県津山市津山口 306
TEL:0868-23-2738

昭和 49 年卒

總會・懇親会参加者名簿 2016

来賓

津山高等学校同窓会会長	牧山 政雄
津山高等学校校長	菱川 靖人

津山高等学校教頭	吉原 啓之
津山中学校副校長	浅野 秀朋

津山高等学校同窓会事務局長	秋山 貴
津山高等学校同窓会事務局次長	植月 透

会員

卒業年	氏名	現住所
昭25	川上 富次	府中市
昭25	長谷 武	横浜市
昭26	小賀 由章	柏市
昭28	押阪 忍	杉並区
昭31	菊地 芳子	品川区
昭31	直原 正	練馬区
昭31	白岩 良一	千葉市
昭31	隅田 憲平	茅ヶ崎市
昭31	額田 克海	津山市
昭33	大津 耀一	仙台市
昭33	小倉 万智子	練馬区
昭33	坂手 彰	稲敷郡
昭33	福原 毅	杉並区
昭33	垂木 津起子	鎌ヶ谷市
昭33	室賀 裕三	中郡
昭34	奥田 恭彦	船橋市
昭34	塚原 淳一	横浜市
昭34	三船 巧	柏市
昭35	安東 穆	横浜市
昭35	片岡 廣治郎	千葉市
昭35	高本 征治	江東区
昭35	田淵 隆三	あきる野市
昭35	寺坂 拓垂	千葉市
昭35	中村 宏	町田市
昭35	馬場 史郎	練馬区
昭35	吉田 光政	横浜市
昭36	岡田 次生	船橋市
昭36	岡本 玲子	日野市
昭36	城戸口 紘	浦安市
昭36	頃安 健司	中野区
昭36	近藤 達也	川崎市
昭36	佐桑 慎二	横浜市
昭36	佐藤 恭子	厚木市
昭36	竹内 妙子	新宿区
昭36	田中 とき子	横浜市
昭36	中井 敬一郎	蓮田市
昭36	本田 貢一郎	八王子市
昭37	浅沼 暢子	船橋市
昭37	泉 昭正	武蔵野市
昭37	大森 慎	鎌倉市
昭37	小原 晋	横須賀市
昭37	黒田 悦司	行方市
昭37	斉藤 正子	所沢市
昭37	土屋 リエ子	越谷市

卒業年	氏名	現住所
昭37	福田 美里	船橋市
昭37	増田 美子	日野市
昭37	山田 和美	小平市
昭37	山本 茂樹	越谷市
昭38	中原 正倫	春日部市
昭39	安藤 馨	八王子市
昭40	草地 八寿郎	千葉市
昭40	組橋 純子	川崎市
昭41	赤木 省三	八王子市
昭41	佐田 通明	世田谷区
昭41	清水 義昭	さいたま市
昭41	青山 平八	足立区
昭41	松本 豊久	駿東郡
昭43	坂上 恭助	相模原市
昭43	黒瀬 英夫	相模原市
昭45	磯山 茂	千葉市
昭45	小林 元治	新宿区
昭45	高畠 範真	越谷市
昭46	坂本 博子	東京都
昭46	鈴木 一成	豊島区
昭46	松井 陽子	所沢市
昭46	水田 潤子	川崎市
昭47	原 雅彦	船橋市
昭48	石井 雅晴	新宿区
昭48	永松 呉葉	川崎市
昭49	松下 いづみ	和光市
昭49	山本 大	浦安市
昭50	堤 康人	国分寺市
昭50	山田 雅義	新宿区
昭51	小田 由美	横浜市
昭51	森安 康雄	国立市
昭54	木村 洋介	船橋市
昭54	松田 匡司	千葉市
昭55	福原 孝弘	八千代市
昭58	内田 広勝	国分寺市
昭58	神橋 一彦	清瀬市
昭58	松原 佐代子	幸手市
昭60	河原 敏朗	横浜市
昭60	浅尾 保則	大田区
昭60	大谷 俊典	横浜市
昭61	芦田 将	葛飾区
昭61	黒田 俊恵	大田区
昭61	難波 行宏	江戸川区
昭61	福嶋 聡泉	八千代市

卒業年	氏名	現住所
昭61	福田 ひかり	世田谷区
昭61	藤原 治	つくば市
昭62	國富 晋作	勝田郡
昭63	宇那木 秀俊	墨田区
昭63	小山 将良	横浜市
平3	宇那木 孝俊	八王子市
平3	杉岡 篤	立川市
平3	谷口 聡	市川市
平3	名取 睦	さいたま市
平3	廣山 美子	川崎市
平3	松浦 良延	川崎市
平3	水田 博久	多摩市
平3	菊井 哲也	津山市
平3	永禮 優司	津山市
平3	小須田 純	津山市
平3	坂本 圭一	津山市
平3	原 栄高	津山市
平3	神谷 寛	津山市
平3	岡 美由紀	津山市
平4	秋山 朝美	品川区
平4	沖重 智子	逗子市
平4	北山 栄美	世田谷区
平4	日下 康幸	港区
平4	國井 美由紀	千代田区
平4	桑島 佳代	中央区
平4	坂本 匡史	世田谷区
平4	佐田 朋義	水戸市
平4	関口 理砂	中央区
平4	谷内 健治	江戸川区
平4	沼野 しのぶ	印西市
平4	沼野 秀吾	印西市
平4	花村 浩二	江東区
平4	平井 憲子	台東区
平4	平山 尚子	国分寺市
平4	森 智美	品川区
平4	松永 昌浩	府中市
平4	森本 博愛	武蔵野市
平5	松嶋 朝子	横浜市
平6	大山 貴志	津山市
平6	形山 竜之輔	埼玉県
平10	山田 精一	流山市
平11	小谷 匠平	世田谷区
平23	廣瀬 凌右	富士見市

学生

平23	内田 光哉	北区
平24	溝口 達也	西東京市
平24	落合 厚	港区
平24	城戸 晃生	西東京市

平25	屋内 大輝	西東京市
平25	日笠 比咲子	豊島区
平25	柿内 智捺	市川市
平25	佐古 美緒	板橋区

平26	森西 寛明	西東京市
平26	藤井 悠衣	多摩市
平27	丸尾 駿	西東京市
平27	鳥取 岳広	西東京市

ベンチプレス世界チャンピオン！ 山本茂樹氏

(昭和37年卒・津山高校関東同窓会前副会長)



ベンチプレスの世界選手権大会で
3年連続の金メダリスト
2階級世界記録保持者



■ **高校時代まで**：加茂町の造り酒屋で生まれました。中学は生徒会長を務め、また陸上競技部所属で郡大会1日6種目優勝の思い出もあります。高校はハンドボール部に入学しましたが、ある事情で2年の終わりに退部。文武両方とも中途半端な3年間で後悔の多い高校生活でした。

■ **大学時代**：立教大学では日本拳法部に入学、卒業後は協会指導員・常任理事を務め、黒帯5段を頂きました。学業の単位は必修以外は3年までに取ってしまい4年の1年間は道場と雀荘に居た記憶が強く、これまた後悔の多い学生生活でした。

■ **社会人になって**：会社では人事・総務畑で、47歳で取締役社長室長兼総務部長兼人事部長に就任しました。右翼・エセ・・・、八九三との対応、特殊株主や政治家絡みの難しいこと等今でも夢に出るようなことも色々ありましたが、これは墓場まで持っていくことにします。

■ **ベンチプレスとの出会いと主な戦歴**：会社リタイア後は何もすることがない日が続きましたので、運動不足を解消できると近くの市営のジムに行きました。たまたまダンベルに触っていたところをジムの先輩に誘われてやってみるのが出会いで、30kg位から始めました。半年後に県大会に出場しましたが、77.5kgの成績で最下位に終わりました。これで負けず嫌いに火が付いて本気になったのだと思います。

主な戦歴は次の通りです。：○2011年世界ベンチプレス選手権大会(以下世界ベンチと略)、デンマーク(60歳代、66kg級)銀メダル ○2012年世界ベンチ、アメリカ(60歳代、66kg級)銅メダル ◆2012年全日本ベンチ(兼世界大会日本代表選考会)3回失敗し失格 ◆2013年全日本ベンチ(兼世界大会日本代表選考会)3回失敗し失格 ○2015年世界ベンチ、アメリカ(70

歳代、66kg級)優勝《世界新記録》○2016年世界ベンチ、デンマーク(70歳代、66kg級)優勝。



2016年世界ベンチ優勝！

■ **ベンチプレスをして良かったこと**：会社を辞め孤独を感じていました。ベンチを始め大会で・ジムで、地元や日本各地、世界の各地にも仲間ができ、広がりのある日々になりました。もう一つは、バーベルをきれいに、高重量を挙げるために、あらゆることにチャレンジ・勉強する気持ちが身につけてきたことです。若く見えると言ってくれる方がいらっしやいますが、毎日その姿勢で年を忘れて前を向いていることでそう見えるのかもしれない。(小谷匠平記)

【現職：公益社団法人越谷市シルバー人材センター理事長。埼玉県パワーリフティング協会理事。公益社団法人日本パワーリフティング協会公認審判員。日本拳法埼玉県連盟理事】

※追伸；インタビュー後に、山本さんから朗報が入りました!!
3月11日に行われた「全日本ベンチ」に74kg級で出場し、155.5kgの日本新記録で優勝。5月22日からリトアニアで開催された世界ベンチでも世界新記録で優勝したそうです。

法曹界の重鎮！東京弁護士会会長(日本弁護士連合会副会長) 小林元治氏 (昭和45年卒)



1952年岡山県津山市加茂町生まれ。中央大学法学部卒業後、司法試験に合格。1981年最高裁判所司法修習生を経て弁護士登録。東京青年会議所理事長、法務省法律扶助制度研究会幹事、日本弁護士連合会常務理事、東京弁護士会副会長などを経て、2016年4月日本弁護士連合会副会長、東京弁護士会会長に就任(2017年3月末まで)。

好きな言葉：「畏天敬人」「疾風に勁草を知る」「人事を尽くして天命を待つ」

格して弁護士の道に進みましたが、高校時代の3年間は長い人生の基礎になっています。それは一度きりの自分の人生を如何に社会の中で生かせるかということだと思います。

もう一つ自分の人生に大きな影響を与えてくれたのは母の存在でした。母は今年1月27日に96歳で亡くなりました。母と実家で過ごしたのは15年余りで、高校から下宿をし、また、大学から上京したので50年近く離れて生活していたこととなります。母は小学校に入る前の私を、よく近所のお使いに1人でやらせ、お辞儀の仕方や言葉使い、話すことの要領をその都度教えてくれました。今思えば、その中で人への気遣いや礼節を教えようとしたのではないかと思います。

母が日頃口にしていた忘れられない言葉があります。

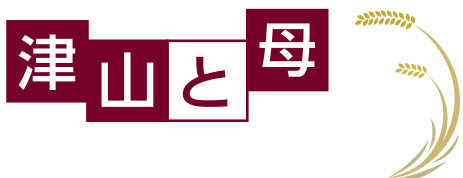
「実るほど頭をたれる稲穂かな」

「金は廻るもの、使うもの。金で買えないものもある」

「金は天下の廻りもの。活かすも殺すも人次第」

学生の頃、そして結婚してからも、私が帰るといって、母はカレンダーに丸をして首を長くして待ち、赤飯を炊き、餅をつけて食べさせてくれました。東京に戻るときには加茂駅まで送ってきて、「帰るまでが楽しみだ。もう帰るのか。今度はいつ帰るか」といつも涙を流していた母が今となっては懐かしい。

「親孝行したいときには親はなし」もっと親孝行出来たのにとこの思いは残るものの、人の道を身をもって教えてくれた母に感謝しています。



私の郷里は、岡山県津山市加茂町です。昭和42年に津山高등학교に入学しました。入学当初の2ヶ月は自宅からの通学でした。一番列車に乗るには朝5時に起きて6時過ぎの列車に乗り1時間余りかけて津山駅に着き、20分徒歩で高校に着きます。毎日片道2時間半の通学ではとても学校の勉強などできないので、やむなく下宿することにしました。1年目は津山市北八子、2年目は材木町、その後2年から同級生になった太田昇君(現在真庭市長)の紹介で彼が下宿していた津高の北にある頼経アパートに移ることに。このアパートには小学校の先生を勤めておられた植月ご夫妻とその家族が勤務先の関係もあって管理人として住まわられていて、お嬢様が津高生の佐和子さんや太田君はじめ津高の同級生7人が共同生活を送ることになりました。夕食は植月夫人の料理を皆で集まって頂くといういわゆる賄い付き下宿屋でした。勉強に疲れると台所に集まって夜食を作り、夜半まで議論しました。当時学生運動が最盛期にあり、多感な我々も触発され、新聞雑誌は勿論、小説、哲学書なども読みました。1年余りだが、この時大いに議論をし、本を乱読したことが私の人生の方向を左右したように思います。

当時の津高は2年の段階で文系と理系の進路を分けていました。私は理系に進み、化学の研究者になりたいと考えていたが、研究生活ではなく、何か現実の社会の中で関わりを持つことの方が自分の性格にあっているのではないかと考え、文系に変更しました。日本史の当時教諭であった河野多作先生から、日本社会を歴史の中でみることが大事だと教えられたことも影響しました。その後中央大学法学部に進み、26歳で司法試験に合



吉井川

津山中学生徒の現状

岡山県立津山高等学校長 菱川 靖人

関東同窓会の皆様におかれましては、平素から本校の教育活動に御協力御支援いただき感謝の念に絶えません。津山高校第68回卒業式の前日に当たる2月28日、牧山同窓会会長のご臨席のもと、同窓会入会式を行い、273名が第68期生として津山高校同窓会に入会しました。式後のHRで「関東同窓会だより」が生徒一人一人に配付されると、食い入るように読む生徒の姿が印象的でした。素敵なおもひひとつの「卒業記念品」をありがとうございました。

さて、今回は、平成27年に開校した津山中学校生徒（津中生）の近況について書かせていただきます。現在は2年生まで合計160名が高校生と同じ校舎内で元気に学校生活を送っています。平成29年度はいよいよ中学校の完成年度で、3学年240名が揃います。高校と合わせて、全校960名となります。

中学校には適性検査と面接を受けて、合格者が入学してきます。この1月の入学者選抜の倍率は2.7倍でした。津山市内の小学校からの入学者が年を追うごとに多くなっており、今回の入試で、全入学者に占める割合は76.5%となっています。津中生が津山高校に進学する際は、高校入試はありません。

制服は、男女ともほぼ高校と同じです。男子はL章の代わりに学年章と中学バッジ、女子は胸の校章の代わりに中学バッジです。校内では中学生は大きな名札を付けているのですぐ区別できます。女子の中には、名札がなければ高校生と区別がつかない生徒もいます。中学生の男子は特に身体的成長が著しく、入学時には踵にかかっていたズボンの裾が、1年経つと踝の遙か上にある、という生徒もいます。帰津の際は、街中で津中生を

探してみてください。校外では名札を外すことになっていますが、背負いのスクールバッグも特徴があり、何となくわかるものです。

高校卒業時には、世界で活躍することを視野に入れたスケールの大きな人間

になってもらいたいということで、英語教育にも力を入れています。学校設定教科の「"イングリッシュ"ロード」では、外国人教員による少人数授業を実施し、他の既設県立中学校3校と肩を並べる英語力を発揮しています。と同時に、自分の出発点を認識するために、自分の生活している地域を知ることも重視しています。1年生ではフィールドワークを実施し、津山市の観光マップを作成しています。

平成30年度には初めて進学生（津中から進学する生徒）80名と、入学生（他の中学から試験を受けて入学する生徒）160名が高校1年次生になります。進学生と入学生が、お互いに連携・融合し、創立以来の校風である「文武両道」「質実剛健」をしつかりと継承しながら、新生津山高校の新たな歴史を紡いでいてもらいたいと思っています。



過去3年間の関東を中心とした主要大学合格者数

国公立	北海道	筑波	東京	東京外	東京学芸	埼玉	群馬	宇都宮	茨城	首都大東京	横浜市	静岡	京都	大阪	神戸	岡山	広島	鳥取	島根	香川
平成27年	3	1	1	1	1	1	2	2	1		3	2	2	7	7	37	3	13	19	10
平成28年		2	1	1	2	2	1	2	2	2			3	8		36	11	13	9	16
平成29年			3	1	1	2	1		1			5	4	6	5	33	3	16	13	8
私立	青山	慶應	駒沢	中央	東海	東京理科	日本	明治	立教	早稲田	関西学院	関西	同志社	立命館	私立合計		徳島	愛媛	九州	国公立合計
平成27年	1	3		4	1	4	5	4	1	3	23	23	25	36	427		5	13	3	177
平成28年	2	8		5	1	2	4	4	5	12	19	18	19	26	408		7	8	2	192
平成29年	0	1	3	0	2	2	0	0	1	8	7	22	22	30	378		11	10	6	180

～出張教室あり～
 職歴：一級建築士
 その他：フルマラソン完走
 日本ストレッチ学院卒
 適正姿勢指導士
 笑いヨガリーダー
 松下いづみ
 *身体機能向上ストレッチ施術
 *適正姿勢指導教室(柔軟性向上姿勢美に！)
 warahi2016.net
 ☎ 048-462-6200・090-3047-2761
 ✉ warahi2016@jcom.zaq.ne.jp
 〒 351-0114 和光市本町 31-8-711

額田・井口法律事務所

額田 洋一
 NUKADA & IGUCHI Law Office
 〒162-0843 東京都新宿区市谷町田 2-7-15
 近代科学社ビル 6階
 TEL：03-3267-3201 FAX：03-3267-3202

特品事業部
 取締役事業部長
山田 雅義

 HAYASHI
 林時計工業株式会社
 〒170-0004 東京都豊島区北大塚 1-28-3
 TEL:03-3918-5623 FAX:03-3918-5683
 E-mail:m-yamada@hikg.co.jp
 http://www.hikg.co.jp/

昭和 49 年卒

昭和 50 年卒

昭和 50 年卒

まつり

帰ってみんちゃい！
やっぱり津山はええとこじゃ！

「津山さくらまつり」は、毎年4月1日～15日に日本の名城・日本の桜の名所・日本の歴史公園の100選に選ばれた国指定史跡・津山城跡(鶴山公園)を主会場に開催されます。森忠政公が津山城を築城して400年の時を超えて2004年には備中櫓が荘厳によみがえりました。

2017年「津山さくらまつり」は、光の演出で城址を幻想的に彩り、津山城鉄砲隊・太鼓ショー・曲水の宴・美作のご当地グルメ・着物de城歩き・お茶席などのイベントが多数開催されました。国指定史跡でありながら三の丸ではバーベキューを楽しむことも可能です。



「津山まつり」は、毎年10月の第3日曜日から第4日曜日の期間に開催されます。各町内に受け継がれてきた「だんじり」は48臺にのぼりますが、徳守神社の20臺、大隅神社の7臺は、文政・弘化・嘉永・安政・万延・文久・慶応の各年間から受け継がれてきた県指定重要有形民俗文化財です。最も古い「だんじり」は、文政3年(1820)の宮脇町の「簾珠臺」です。

徳守神社の神輿は、日本三大神輿の一つで、重さは300貫(1トン超)、150人以上の担ぎ手が獅子練りを先頭に担ぎます。「西の小京都」と呼ばれる美しい町並みを神輿や獅子や「だんじり」が練る光景は、「津山まつり」の見どころの一つです。(水田潤子)



資料：津山祭り今昔図(発行：津山市地域雇用促進事業団)

「津山納涼ごんごまつり」は、毎年8月の第一土曜・日曜に行われる大サマーフェスティバルです。「ごんご」は津山地方の方言でカップを意味します。

「よみがれ川の魂」をテーマに、2017年の「ごんごまつり」は39回目の開催となります。開催場所は吉井川河岸緑地公園、ごんご通り、ソシオ一番街です。約数1000人が参加するごんごおどりや5000発の花火が夜空を彩ります。

代表取締役
土屋 尚士

株式会社 アンデスフィルム
〒106-0031 東京都港区西麻布3-18-11
PHONE. 03-5414-2411 FAX. 03-5414-2412
Mobile. 090-8940-1300
E-mail: andes@andes-film.com

不動産税務 相続税務に強い
新日本税理士法人

日本橋支店長 松田 匡司
税理士

〒103-0027 (東京・日本橋)
東京都中央区日本橋1-2-10 4F
TEL 03-6262-0797
http://www.souzokuzei-soudan.jp/
E-mail: matsudamasashi@shinnihontax.com

LEIKYO UNIVERSITY
DOCCLOUTY
Lead the Way

法学部長
大学院法学研究科委員長
博士(法学)
神橋 一彦
Kambashi Kazuhiko

立教大学
〒171-8501 東京都豊島区西池袋3-34-1
Tel. 03-3985-2542 Fax. 03-3983-0174
E-mail: kambashi-k@rikkyo.ac.jp



作州 の 地方 方言



神南備山から見た津山 (和田有希氏撮影)

上京したての頃、友人に「傘にのせて!」と言ってキョトンとされ、薄暗くなったので「ヒをつけて!」と言っては目を白黒されたことを懐かしく思い出します。

白石哲編「作州辨控」には、美作地方の方言として 860 余語が掲載されていますが、その中で、津山市内で育った私が知っている言葉は 2 割弱しかないことに驚きました。言語学者によると、古い言葉ほど周辺地域に残っているそうなので、津山市内では使われなくなった言葉が、周辺地域では伝わってきているということでしょう。方言の分布は日本語の歴史を知る貴重な資料にもなるようです。

作州弁では、「人がオル」と言いますが、共通語では「人が居(い)る」です。徳川宗賢編『日本語の方言地図』によると、新潟の糸魚川から静岡の浜名湖を結ぶ「糸魚川一浜名湖ライン」より西は「オル」、東は「イル」が分布しているようです。しかし東京でも、「家にオリます」といった丁寧語の場合は「オル」を使いますが、これは上方の言葉が江戸に入り、丁寧語として使われるようになったものとのことです。この「オル」「イル」のように「糸魚川一浜名湖ライン」を境に、西と東で言葉が分かれる例は結構多いのですが、作州弁の中には、岡山県と鳥取県という狭い地域にしか分布していない言葉もあります。「キョートイ」と「ホイト」がその例です。「怖い」は、近畿地方では「コワイ」が、「糸魚川一浜名湖ライン」より東は「オッカナイ」が一般的です。しかし、東京地域だけは「コワイ」を使っており、やはり「オリます」と同様に上方言葉が江戸に入って広まったものなのでしょう。実は『地方別方言語源辞典』によると、「キョートイ」は「けうとし」という古語から来た言葉で、『源氏物語』でも使われているようです。近世初期から「きょうとい」と発音されるよう

になったとのことでした。

「ホイト」も「キョートイ」と似た分布ですが、島根県の一部でも使われています。共通語の「ものもらい」は関東にのみの分布で、畿内は「メイボ・メバッコ」等々です。「メイボ」は「目のイボ」のことで、そのものズバリの名称です。「ホイト」ですが「陪堂(ほいとう)」と書き、乞食の意味の仏教用語で、これは遠く離れた秋田県・山形県の一部にも分布しています。「ものもらい」と同じ意味なので古語が残ったとも考えられますが、分布の仕方からすると、中国又は朝鮮半島等から日本海経由で伝わった言葉という可能性も考えられます。

以上見てきたように、作州地方の方言のルーツには三通りあることがわかります。一つは「糸魚川一浜名湖ライン」の西側文化圏の一員ということによるものです。二つは古語からのもので、古語は都から離れるほど残っているようですから、津山もその例外ではないということでしょう。三つ目は、日本海経由で鳥取に入った言葉が伝わったもので、この方言の使われる地域は非常に限られていることが特徴です。

今の津山っ子は作州弁をどれ位使っているのでしょうか。方言は放っておくといずれは消えていくものです。「方言は国の手形」と言われるように、方言はその地域の住民であったことの証でもあります。継承すべき文化遺産の一つとして、私たち共通の手形である作州弁を守っていくことも大切かもわかりませぬ。(増田美子)

参考文献：白石哲編「作州辨控」(『丁丑歳美作国暦』津山朝日新聞社、1996年)。小林隆著『方言が明かす日本語の歴史』岩波書店、2006年。徳川宗賢編『日本語の方言地図』中公新書、2013年。尚学図書編『日本方言大辞典』小学館、1989年。真田信治・友定賢治編『地方別方言語源辞典』東京堂出版、2007年。

人と人、人と不動産おつなぎします。
全国会員 10,000 人の中から
素敵なお相手と住居まで

仲人
×
不動産

早瀬 徹
0467-66-0003

(有) ライフネット湘南

昭和 63 年卒

代表取締役 / オーナー・シェフ
フードプロデューサー

難波 秀行
Hideyuki Namba
namba@petaledesakura.com

レストラン ベタルドゥ サクラ
株式会社 さくら喫茶

〒245-0008 横浜市長区弥生台5-2
Tel.045-443-5876
Fax 兼 キッチン直通電話 Tel.045-443-5874
www.petaledesakura.com

平成 4 年卒

Marco Polo Japan
海外イベントチケット

代表取締役
花村 浩二

有限会社マルコポーロジャパン
〒136-0071 東京都江東区亀戸8-26-5-1405
TEL.03-5628-3822 FAX:03-5628-3823
Mobile: 090-1996-1773
URL:http://www.mpj-ticket.com
E-mail:rubsoul@mpj-ticket.com

平成 4 年卒

関東同窓会役員・常任委員一覧 2016

会長 片岡廣治郎 (S35 年卒) **副会長** 竹内妙子 (S36 年卒) **副会長** 増田美子 (S37 年卒) **副会長** 草地八寿郎 (S40 年卒)
副会長 (事務統括) 石井雅晴 (S48 年卒) **副会長** (事務局長) 山本大 (S49 年卒) **監事** 高本征治 (S35 年卒) **監事** 佐栞慎二 (S36 年卒)
総務担当委員 馬場史郎 (S35 年卒) **総務担当委員** 泉昭正 (S37 年卒) **総務担当委員** 水田潤子 (S46 年卒) **総務担当委員** 山田雅義 (S50 年卒)
総務担当委員 広野晃子 (S50 年卒) **総務担当委員** 早瀬徹 (S63 年卒) **総務担当委員** 関口理砂 (H4 年卒) **総務担当委員** 國井美由紀 (H4 年卒)
総務担当委員 小谷匠平 (H11 年卒) **総務担当委員** 和田有希 (H22 年卒)

卒業年	氏名	電話番号	卒業年	氏名	電話番号	卒業年	氏名	電話番号	卒業年	氏名	電話番号
昭 10	小坂 進二	0424-63-0015	昭 35	片岡 廣治郎	043-284-2455	昭 47	原 雅彦	047-457-3490	昭 58	後藤 かおり	03-3929-7437
昭 13	山本 兼三	03-3700-5700	昭 36	佐桑 慎二	045-713-5593	昭 48	石井 雅晴	03-3339-9493	昭 59	安田 明弘	090-3347-0143
昭 17	影山 和枝	042-321-4340	昭 36	竹内 妙子	03-3209-5186	昭 48	永松 呉葉	044-953-1695	昭 59	片山 政周	029-856-0030
昭 18	井上 昌子	03-3717-9333	昭 36	近藤 達也	044-854-8138	昭 49	林 敏彦	03-5475-8290	昭 60	枝並 輝之	090-5798-7907
昭 20	今村 文郷	0463-96-0050	昭 37	増田 美子	042-591-1853	昭 49	山本 大	047-382-8668	昭 60	山本 敏伸	090-3907-2184
昭 22	浮田 裕之	03-3333-4044	昭 37	泉 昭正	0422-20-7611	昭 49	中山 有美	03-3491-0810	昭 61	芦田 将	090-8598-3745
昭 22	福井 富枝	047-355-0814	昭 37	大森 慎	0467-22-4450	昭 50	額田 洋一	0492-67-2475	昭 61	黒田 俊恵	080-3481-5735
昭 25	長谷 武	045-382-1414	昭 37	山本 茂樹	048-966-1751	昭 50	山本 博文	048-482-5391	昭 62	岡野 洋士	045-973-2353
昭 26	小賀 由章	04-7143-4417	昭 38	澤谷 豊	045-955-1716	昭 50	幡上 敬子	042-734-9251	昭 62	谷口 太郎	048-465-7103
昭 26	竹久 美与子	0467-32-3969	昭 39	衣笠 一成	045-902-3680	昭 50	広野 晃子	044-855-2053	昭 62	廣野 崇文	090-3110-7365
昭 27	久本 昌夫	03-3990-6882	昭 39	安藤 淑子	080-3583-0213	昭 50	山田 雅義	03-3354-2218	昭 63	小山 将良	090-4733-3243
昭 28	浮田 久	045-594-4922	昭 40	草地 八寿郎	043-294-7690	昭 51	佐竹 康宏	03-5350-3707	昭 63	繁定 正典	090-9822-9534
昭 28	三宅 寛子	045-833-3486	昭 41	赤木 省三	042-659-2592	昭 51	岡田 恵子	03-3843-3354	昭 63	早瀬 徹	090-3221-3847
昭 29	原 光穂	0468-73-7209	昭 41	高橋 伸昌	03-3317-8610	昭 52	角南 元司	03-3825-0740	平 2	中西 孝	047-186-0838
昭 29	安藤 美恵子	03-3321-6056	昭 41	井上 幸恵	048-258-6818	昭 53	阿部 達彦	0492-71-2080	平 4	日下 康幸	080-3918-0365
昭 30	金築 順子	042-944-5403	昭 42	堀内 慎一	042-366-1579	昭 53	山口 ゆりか	045-548-1048	平 4	花村 浩二	03-5628-3822
昭 31	白岩 良一	043-421-3261	昭 43	神家 康博	043-279-3019	昭 54	松田 匡司	043-294-3986	平 4	柳澤 雅人	090-7779-1398
昭 31	大谷 昌子	042-360-4767	昭 44	栗 二公雄	0466-33-7410	昭 55	内田 達也	042-577-4502	平 4	國井 美由紀	03-3635-6122
昭 32	友保 隆晴	047-475-6190	昭 45	木多 務	0466-35-2601	昭 56	山本 進	090-5532-2809	平 4	関口 理砂	090-9998-3263
昭 33	福原 毅	03-3391-0392	昭 45	福田 正志	048-858-8783	昭 56	石田 徳子	045-778-3056	平 5	山縣 政宏	0467-43-7107
昭 33	柿内 扶仁子	03-3467-3671	昭 45	高畠 範真	048-966-6882	昭 56	久保 明美	03-3767-9160	平 8	日上 多聞	0422-44-1565
昭 34	奥田 恭彦	047-449-3873	昭 46	植月 雅文	03-6677-3964	昭 56	照尾 彰教	090-1204-4095	平 10	山田 精一	090-4658-0568
昭 34	岩下 尚子	047-439-3164	昭 46	水田 潤子	044-855-7976	昭 57	杉原 隆世	0466-35-2788	平 11	小谷 匠平	090-1652-4913
昭 35	高本 征治	03-5690-4055	昭 47	有吉 啓子	048-855-2741	昭 58	神橋 一彦	090-5686-9990	平 22	和田 有希	090-7547-0568
昭 35	馬場 史郎	03-3921-3265	昭 47	谷岡 宏	045-505-3033						

- 常任委員ご不在の年度の方は、早急に常任委員を決定しご連絡ください。
- 同期の方の住所等についての問い合わせや住所変更などの連絡は、各期の常任委員の方までお願いします。同期の常任委員がない場合は、事務局へお問い合わせください。

坂本匡史建築設計室
一級建築士事務所

代表
坂本 匡史
MASAFUMI SAKAMOTO

一級建築士
名城大学理工学部非常勤講師
国士館大学理工学部非常勤講師

〒158-0082
東京都世田谷区等々力5丁目19-20 ノワールプラン202号
mobile : 090-4585-5520
e-mail : ma_sakamoto@mifty.com

津山・岡山県北の今を説くなら

津山朝日新聞

夕刊紙・月刊紙
津山朝日新聞社
広告・ちらし全般・自費出版

〒708-0052 岡山県津山市田町 13
TEL : 0868-22-3135 FAX : 0868-24-3184

岡山ゆかりの学生を受け入れている学生寮です

- 冷暖房完備、広い個室、スポーツ施設併設
- 2食付で安い寮費など、学生生活環境が整っています

公益財団法人 **鶴山館**

〒202-0013 東京都西東京市中町 5-10-8
☎ 042-422-5951



津山高校関東同窓会だより 第2号

謹んでお悔やみ申し上げます

2016年3月から2017年2月までに文書で事務局にお知らせのあった方のみを掲載しています。

昭和8年卒 土居 皓二様
昭和12年卒 内田 彰 様
昭和15年卒 太田 瑛子様
昭和16年卒 渡部 温子様
昭和22年卒 田口 三生様
昭和24年卒 野山 靖夫様
昭和25年卒 守安 弘志様
昭和26年卒 宗平 康義様
昭和27年卒 福田 治 様

昭和28年卒 小林 元司様
昭和29年卒 江原 完治様
昭和29年卒 桑村 緑男様
昭和29年卒 中根 正枝様
昭和31年卒 額田 禎介様
昭和32年卒 安藤 幸正様
昭和32年卒 山本 博通様
昭和34年卒 頭子 元二様
昭和37年卒 生末 俊輔様

昭和37年卒 福田 祐作様
昭和39年卒 竹内 幹雄様
昭和43年卒 水田 眞琴様
昭和44年卒 藤田 保 様



2017年度関東同窓会総会・懇親会のご案内

今年度は60年記念総会・懇親会です。下記の通り開催しますので、お誘いあわせの上、ご参加ください。

- 日時：2017年9月30日(土)12時～
- 会場：霞山会館
(東京メトロ銀座線虎ノ門駅11番徒歩1分)
〒101-0013千代田区霞が関3丁目2-1
霞が関コモンゲート西館37階 TEL：03-3581-0401
- 会費：7,000円(会員一律)

関東同窓会ホームページについて

WEBにて関東同窓会を紹介しています！パソコン・スマホからホームページをぜひチェックしてみてください。

関東同窓会公式サイト
<http://tsukou.com/> (パソコン・携帯共通)

QRコード



津山高校関東同窓会

検索

同窓会費納入のお願い

本同窓会は、みなさまから納入される会費で運営されています。いつも会費を納入してくださる同窓生のみなさまには感謝しております。しかし、納入状況が捗々しくないのも事実です。みなさまの更なるご協力、よろしくお願い申し上げます。

編集

後記

津山高校「関東同窓会だより第2号」をお届けいたします。今号は、平成28年度の総会懇親会の報告と特集として、「活躍する卒業生たち」、「津山高校ニュース」、「津山のまつり」、「作州の方言」等を掲載しました。本誌が、会員同志の心の架け橋となり、遠く離れた津山の思い出等も同窓生の皆様にお届け出来ればと編集者一同願っております。今後ともご愛読頂けるよう努めてまいりますので、ご支援ご指導をよろしくお願い申し上げます。(竹内妙子)

寄稿のお願い

編集委員会では、「津山高校関東同窓会だより」への寄稿をお待ちしております。みなさまの近況報告・随想・ご意見等々の原稿をお寄せください。字数は、400字程度でお願いいたします。尚、紙幅等の関係から、採否の決定は編集委員会ですべて頂きますので、ご了承ください。

関東同窓会だより広告募集

会報誌3号の広告を募集いたします。みなさまからの協賛をお待ちしております。

- サイズ：横6.2cm×縦3.8cm
- 協賛金：一口5,000円
- 申込み締切り：2017年12月31日
- 申し込み先：事務局 TEL：03-3984-7515

作品展募集

今年も恒例となりました総会会場での作品展を開催します。みなさまの奮ってのご出品をお願いします。

- 作品サイズ
絵画：10号程度 書画：軸装で半切程度
陶器：5点位まで
- 申込み締切り：2017年8月31日
※詳しくは事務局までお問い合わせください。

〈編集委員〉

編集委員長：増田美子(昭和37年卒)

編集委員：竹内妙子(昭和36年卒)・泉 昭正(昭和37年卒)
水田潤子(昭和46年卒)・山本 大(昭和49年卒)
國井美由紀(平成4年卒)・関口理沙(平成4年卒)
小谷匠平(平成11年卒)・和田有希(平成22年卒)

オブザーバー：石井雅晴(昭和48年卒)

津山高校関東同窓会だより 第2号

2017年6月30日発行 発行人 片岡廣治郎

津山高校関東同窓会事務局

〒171-0014 東京都豊島区池袋2-57-2 ボイスインターナショナル(株)内
TEL：03-3984-7515 FAX：03-3984-2318 E-mail：info@tsukou.com